

# 「野球でできる喜び・幸せ胸に」

## 紙上選手宣誓 曾於・矢上主将

季節外れのインフルエンザ流行などを受けて開会式が中止された第105回全国高校野球選手権記念鹿児島大会。選手宣誓は「幻」となったが、曾於の矢上竜太郎主将(3年)に「紙上選手宣誓」として寄稿してもらった。

「宣誓。3年前私たちは、共に泣き、感動を分かち合う機会を失い、中学最後の夏を不完全燃焼に終え悔しい思いをしました。今、世界を見渡すと、好きなことはおろか、平和に生活することさえもできない同世代の人たちがいます。私たちは、この3年間で痛感した、野球ができる喜びと幸せを胸に、今ここに立っています。」



吉原 上 羽 集 不 商 業 羽 工 業

野球ができる環境に、指導してくださる監督・先生方に、そして自分たちをいつも近くで支えてくれる家族やチームメイトに感謝を届けられるよう、最後まで全力で、正々堂々とプレーすることを誓います。

令和5年7月1日

曾於高校野球部主将

矢上竜太郎

矢上主将は、6月17日に鹿児島市内であった今大会の組み合わせ抽選会で、参加64チームを代表しての選

手宣誓を希望する主将たちから抽選で選ばれた。各校の主将・監督らを前に「最高の夏になるように頑張ります」と決意を語っていた。